

ポルタジャーム ピロリ(PORT-PYL)

Portagerm pylori(PORT-PYL)

H. pylori の輸送培地

用途

本品は、*Helicobacter pylori* を検出し培養するための胃生検材料輸送のために使用します(1,2,4)。

Helicobacter pylori を維持するのに必要な最適条件を有します(3)。

原理

本培地は半流動培地で、以下を含んでいます。

- ペプトン緩衝培地の成分
- *H. pylori* の生存維持に適した成分
- 口腔咽頭の菌叢の発育を抑制する抗生物質混合物

調整済み培地

REF 42041 バイアル型 8本(8x2.5mL)

組成

理論値

性能を確保するため、若干変更される場合があります：

精製水中の組成(g/L)

カゼインペプトン(ウシ).....	10g
ソイペプトン	8g
デンプン	2g
塩化ナトリウム.....	7g
リン酸二ナトリウム.....	2.5g
寒天.....	6g
抗生物質混合物.....	20mL

pH6.3

必要な試薬

- ピロリ寒天培地(ref.43263)

使用上の注意

- *in vitro* 試験のみに使用して下さい。
- 熟練者が使用して下さい。
- 本培地は動物由来の原料を含みます。由来に関する知識、由来動物の衛生状態は感染性のある病原体がないことを保証するものではありません。これらは潜在的に感染の可能性のあるものとして、充分注意の上お取り扱い下さい(摂取または吸入しないで下さい)。
- 全ての検体、微生物培地、そして検体を接種した製品は伝染性であるものとして適切にお取り扱い下さい。試験に用いる細菌グループの無菌操作と通常操作の留意事項は以下のガイドラインに基づきお取り扱い下さい。**安全ガイドライン**：”CLSI/NCCLS—M29-A, *Protection of Laboratory Workers From Occupationally Acquired Infections; Approved Guideline—Current Revision*”。**操作留意事項**：Biosafety in Microbiological and Biomedical Laboratories—CDC/NIH—Latest edition、または各国の規制ガイドラインに従ってください。
- 有効期限切れの製品は使用しないで下さい。
- コンタミネーションの起きているボトルは使用しないで下さい。
- ご使用前に、ボトルのふたがしっかりと閉められていたことを確認してください。
- 性能試験は、この添付文書に従った使用方法にて得られた結果を示しています。操作方法を変更すると結果に影響を及ぼすことがあります。

保管方法

- 箱の状態で、2-8℃下で有効期限まで保管可能です。

検体

本品は、胃生検材料の輸送に用います。

使用法

検体採取：

1. バイアルを室温に戻します。
2. 採取後、直ちに検体を寒天の内部に深く挿入して下さい。

検査室内でのバイアルの処理：

1. 検体採取後、できるだけ速やかに遮光して、検査室へ本バイアルを輸送してください。
2. 白金耳等でバイアルから検体を取り出します。
3. 直ちに、特殊培地(ピロリ寒天培地等)に接種します。接種方法については、各培地の添付文書に従って下さい。

品質管理

プロトコール：

本培地は、下記の標準菌株を用いて試験を行います。

- *Helicobacter pylori* ATCC® 43504
1. 滅菌生理食塩水で菌懸濁液を作成します。
 2. 菌懸濁液の 0.25ml をバイアルに挿入し、気泡が入らないように、静かに寒天と混和します。
 3. バイアルを 48 時間、遮光して 20-25℃にて保存します。
 4. ピロリ寒天培地に白金耳にてサブカルチャーを行います。
 5. 33-37℃にて微好気条件下にて 7 日間培養します。

精度管理限界値：

使用菌株	20-25℃での保管後の試験結果
<i>Helicobacter pylori</i> ATCC® 43504	発育

注意：

培地の用途を考慮し、適切な規制(頻度、菌株数、培養温度、抗菌薬の選択等)に従って品質管理を実施されることをお勧めします。

留意事項

本培地中に沈殿がみられることがありますが、培地の性能に影響はありません。

性能

性能は、7 株の *H. pylori* を含む細菌 13 株と 1 株の酵母様真菌(*Candida* 属)を用いて 25℃で評価されました。

結果：

本品は、48 時間後の *H. pylori* 7 株の生存を維持しました。48 時間の保存後、*H. pylori* 以外の細菌 6 菌株中 3 菌株は抑制されました。酵母様真菌は、保存期間後では抑制されませんでした。

廃棄処理

未使用の試薬は、有害化学物質廃棄物の処理手順に従って処分してください。

使用済み試薬および他の汚染廃棄物は全て、感染性もしくは感染の危険のある製品の取扱い方法に従って行ってください。起こりうる危険を適切に考慮の上、各検査室の責任の元、廃棄産物や流出物はそれぞれの危害毒性や度合いを考慮し、地域の適切な規制に従って廃棄してください。

参考文献

1. MEGRAUD F. - Méthodes de diagnostic dans l'infection à *Campylobacter pylori* - Méd. et Mal. Inf., 1989, vol. 19, p. 74-78.
2. BUCK G.E. - *Campylobacter pylori* and Gastrointestinal Disease - Clin. Microbiol. Rev., 1990, vol. 3, n°1, p. 1-12.
3. SEVIN E., SOUSSY C.J., TANKOVIC J. - *Helicobacter pylori* en 1998 - Feuilles de Biologie, 1998, vol. 34, n°224, p. 15-30.
4. MAROYE P. - Diagnostic biologique de l'infection à *Helicobacter pylori* - Rev. Fr. Lab., Oct. 1999, vol. 316, p. 47-54.

記号

記号	内容
	品番
	製造元
	保管温度
	使用期限
	ロット番号
	添付文書を参照
	<n>回分の試験を含む

(問い合わせ先)

製品関連

バイオメリュー・ジャパン株式会社

臨床(病院、臨床検査センターなど) TEL: 0120-265-034

産業(企業、保健所など) TEL: 0120-022-328

注文・納期・在庫関連

バイオメリュー・ジャパン株式会社

TEL: 03-6834-2666(代表)

*本添文書は、下記 Web サイトからダウンロードできます。
<http://www.biomerieux-jp.net/>

バイオメリュー・ジャパン株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂二丁目 17 番 7 号赤坂溜池タワー2 階

Tel: 03-6834-2666 / Fax: 03-6834-2667

<http://www.biomerieux.co.jp>



bioMérieux SA

376 Chemin de l'Orme

69280 Marcy-l'Etoile/France

Tel.33(0)4 78 87 20 00 /

Fax33(0)4 78 87 20 90

<http://www.biomerieux.com>



BIOMÉRIEUX

The logo is a registered and protected trademark of bioMérieux sa or one of its subsidiaries.